


カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7						12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】自社の環境(環境情報公開、環境報告書発行)、社会貢献活動などの情報をホームページ等で公開する													12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】再生可能エネルギー、グリーン電力を導入する							7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	天然資源の利用に際して、認証製品の利用を進めている														12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄の禁止について周知するための活動をしている(研修、朝礼での読み合わせ、ポスター掲示等)																		16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正な競争・取引の禁止について周知するための活動をしている(研修、朝礼での読み合わせ、ポスター掲示等)																				16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【予定】商標・特許等の知的財産権の取得・管理に関するルールをつくる											8.2	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護の取り組みを周知するための活動をしている(研修、朝礼での読み合わせ、ポスター掲示等)																				16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】サプライヤーやパートナーに対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その順守を要請している						5			8		10			12	13	14	15	16	17	
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	チャレンジ	・製品・サービスの安全性を確保するための取組を周知するための活動(ルールブックの配布、読み合わせ、ポスター掲示、研修等)が実施している			3.9										12.4							
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	チャレンジ	・不具合発生時の対応が整備され、クレーム対応手順の明確化など、品質を保証するための仕組みが構築されている										9										
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	貼り替え不要のクロスの使用 ・製品やサービスの企画、設計時に環境への貢献を考慮している(製品、サービスによるCO2削減、電力消費量削減、プラスチック削減、リサイクルしやすい製品設計など)						6								12	13	14	15			

31	非該当	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・自社製品やサービスで社会課題解決(食品ロス等)への貢献している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
					主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
32	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	チャレンジ	・地元地域や事業を展開する地域の自治体やコミュニティ(自治会、青年会、商店街等)と交流する機会を設け、自社の事業がその地域に及ぼす影響等を把握している				4					9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地元地域や事業を展開する地域に貢献する活動を実施している				4							11			14	15		17		
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・地域の原材料を優先的に活用している								8	9		11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	チャレンジ	・経営目標を社内で共有している								8	9									17	
36	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	チャレンジ	・法令遵守(コンプライアンス)の考えを周知するための活動(ルールブックの配布、読み合わせ、ポスター掲示、研修等)を実施している																	16		
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	チャレンジ	【予定】CSRの取り組みを推進するための部署や担当者を決める																	16		
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	チャレンジ	【予定】自社が社会や環境に及ぼす影響についてステークホルダーと対話する機会や仕組みを設け、情報収集に努めている																		16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクマップ等を活用し、リスクの洗い出し・評価を行い、自社にとって重要なリスクを特定し、必要な対策を講じている																		16	
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】CSR方針や規程が定められている																		16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】BCP(事業継続計画)を策定している 事業継続力強化計画認証取得する										9		11		13 13.1				16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補があり、事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9									17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)